

副理事長方針

副理事長 林 一彦

社団法人亀岡青年会議所は明るい豊かな社会の実現の為、諸先輩方の「英知」と「勇気」と「情熱」を結集したJC活動や、多くの関係諸団体、市民の皆様の心入れあるご協力を礎に今日に至ります。時代の流れを追うと物質的に乏しかった時代が過ぎ、物が溢れ豊かになりました。そして豊かさに慣れ自分さえよければいいという思いやりの心を忘れるのではなく人と人とが支えあいお互いが信頼しあえるまちづくりをしていかなければいけません。私達、亀岡青年会議所メンバーが率先してどんな困難な状況においても誰よりも強い心を持ち人と心の繋がりを大切にすることが必要です。

亀岡青年会議所がまちづくりを行なう団体として自分達のまちは自分達で考え自分達でつくるという考えのもと、多くの市民の皆様に事業に参加して頂き、その活動が市民全体に広がり昇華できるよう皆様から頂いた情報やまちづくりに対してのおもい、私達が知らない問題点を抽出することにより効果的に事業展開できます。亀岡という土地は滋味に富み、きわめて豊かな自然があり、保津川下りを始めとする観光の拠点としての性格を有していますが、亀岡の風土、文化を青年会議所活動を通して生かすことが必要です。亀岡に存在するあらゆるものを青年会議所メンバーで「企画、検討、実行」し有効活用することにより明るい豊かな社会の実現を目指します。その為には市民の皆様の協力が必要不可欠です。行政や地域、各諸団体と連携し「協働」によるまちづくり事業を行なっている所存です。亀岡青年会議所の特性を十分に発揮し様々な形で熟慮、模索し「行動」から「考動」へ転換することにより、市民の皆さんと共に風土、文化を生かしていく事がまちづくりへのひとつの方向性であり一人ひとりが自分達のまちを良くするんだと愛郷心を持ちその先にある「協働型社会」の確立にむけて活動してまいります。

このまちには夢や希望をもった多くの子どもがいます。まちの未来を考えた時に子ども達に何を残せるだろうか思慮します。子どもは大人の背中を見て育つといいますが私達に出来ることとして歴史や伝統文化、自然を題材に体験してもらい亀岡の素晴らしい文化を学べる設えをし、共に育むことのできる環境づくりに注力することにより人から人へ伝播し明るいまちの創造に繋がります。

亀岡青年会議所は2013年までに公益社団法人格を取得し新たなスタートを切らなければなりません。本年度は今後の青年会議所活動において稀有な年度であり、脈々と受け継がれてきた歴史と伝統、そして新公益会計基準に沿った試みに挑戦しなければなりません。これまで以上に市民の皆様、行政、関係諸団体と連携し事業を通して絆を深めることに尽力します。亀岡青年会議所が市民の皆様にとって必要な存在になり共にまちづくりをしていきましょう。

本年度、副理事長として亀岡に点在する資源を最大限に活用しまちづくりに同志と共に取り組んでまいっている所存です。不安定で利己的な社会の中で、我々が立たなければならないと自覚を持ち、取り組んで行きますので会員諸兄のご指導、ご協力をお願いし副理事長方針とさせていただきます。